

横田さん「子ども返せと言って」 飯塚さん「世論の盛り上がりを」

拉致問題講演で呼びかけ

北朝鮮による拉致被害者家族の横田早紀江さん(78)と飯塚繁雄

さん(76)の講演会が8日、みどり市笠懸町の桐生大学で開かれ

た。横田さんは「政府は『大事な子どもを返せ』と何度でも言って

ほしい」と強い姿勢で交渉するよう求め、飯塚さんは「世論の盛り



記者会見する横田早紀江さん(左)と飯塚繁雄さん(桐生大学で)

多くの人の協力、政府がその気にならないと帰ってこない。政府を動かすみなさんの声が大いである」といっそうの世論の高まりを期待した。再調査については「北朝鮮の思惑に振り回されないようにしないといけないが、その兆候が出ている」と指摘した。

上がりが大事」と呼び掛けた。

講演会は県やみどり市、「救う会・群馬」などが主催した。約700人を前に横田さんは「交渉が進まない。今度はどうしてもいつの間にか静かになってしまふ」とはがゆい思いを口に、「政府、外務省は自分の子どもが拉致されたと思って交渉してほしい」と訴えた。

記者会見で横田さんは「(長女めぐみさんが拉致されて)37年間も進展しないのはなぜだろうと思っている。本気でやってほしい」とし、飯塚さんは「この2年間に拉致被害者の家族が7人も亡くなっている。政府はこの状況をきちんと捉えて、一刻も早く解決してほしい。今は国民世論を盛り上げて北朝鮮にメッセージを出すのと、強い態度で返せと迫ることが大事」と訴えた。

家族会代表の飯塚さんは「また寒い冬がくる。一刻も早く返してほしい。しかし、思いだけでは解決しない。」